

Tobacco Free Kids Japan Project

お勉強ではなく、子供たちが、体感し、発見し、メディアを使って、自分で考える、新しい！健康教育プログラム



こどもたちが学ぶ、こどもたちから学ぶ。

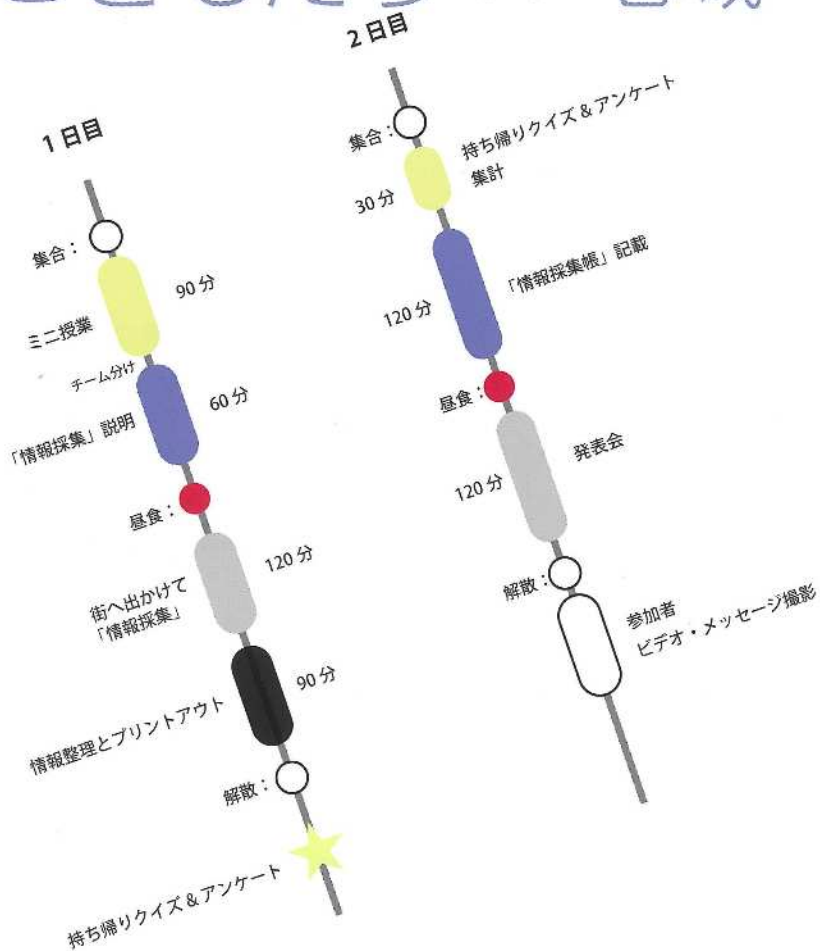
がん予防教育プログラム

2DaysWorkShop

「タバコフリー・キッズ」

こどもたちがつくりだす「健康」というソーシャル・キャピタル

こどもたち × 地域 = 健康



プログラム協力：国立がん研究センター

タバコフリー・ジェネレーションを育てる、 「タバコフリー・キッズ・ジャパン」 がん予防教育プログラム

公益財団法人日本対がん協会 参事

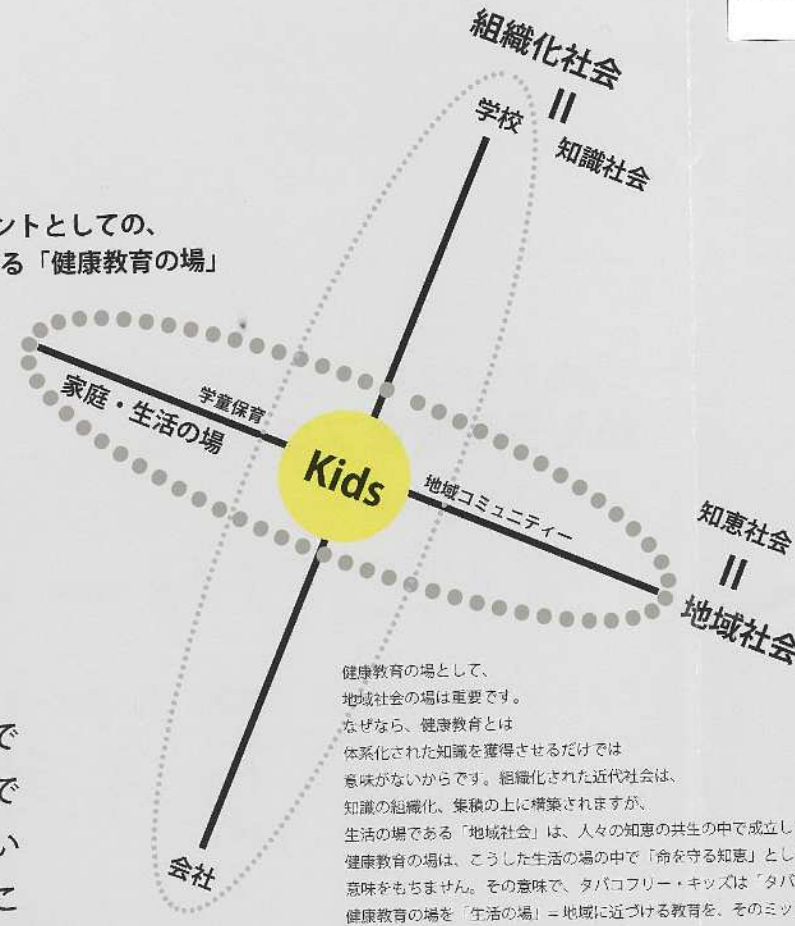
望月友美子



タバコの害について正しい知識を子どもたちが学校で学んでも学んでも、一歩学校を出れば、街で、家庭で大人たちはタバコを吸い、タバコが売り買いされている現実があります。このような現実の環境の中で、子どもたちが自らの目で見、考えて、自分たちの健康を守るには何が大切なのかを、学びとる力を育てる健康教育プログラムが「TOBACCO FREE KIDS」のプログラムです。

日本対がん協会は1958年「がん征圧」をミッションとして日本で初めて設立された民間団体であり、その設立使命から2003年には様々な医療団体に先駆けて「禁煙宣言」を発表しタバコフリー社会の実現を目指して活動をしてきました。がん予防のための最短距離の活動はタバコフリー・ジェネレーションを育てることの他にはありません。皆様と協力して「タバコゼロ社会」を実現したいと考えています。

クロスポイントとしての、TFKにおける「健康教育の場」



健康教育の場として、地域社会の場は重要です。なぜなら、健康教育とは体系化された知識を獲得させるだけでは意味がないからです。組織化された近代社会は、知識の組織化、集積の上に構築されますが、生活の場である「地域社会」は、人々の知恵の共生の中で成立しています。健康教育の場は、こうした生活の場の中で「命を守る知恵」として働かなくては意味をもちません。その意味で、タバコフリー・キッズは「タバコと健康」についての健康教育の場を「生活の場」=地域に近づける教育を、そのミッションとして考えています。

Tobacco Free 2020 JAPAN
Tobacco or Health



Tobacco Free Kids Japan

タバコフリー・キッズは

「情報採集」に、
iPadを持って街へ。



子どもたちはiPadを使って
写真やビデオなど、
街中からタバコについての情報を集めてきます。



「Tobacco Free Kids Japan」プロジェクトは、
子どもたちこそ「地域と未来の主演」だと考えます。
「タバコフリー・キッズ」は、禁煙からはじまる「がん予防」の啓発、教育を、
子どもたちがデジタルデバイス iPad を使い、自分たちの街で大人たちを巻き込んで、
タバコと健康についての「情報採集」を行うという、ユニークな健康教育プログラムです。

子どもたち × 地域 = 健康

「健康について」お勉強ではなく、子供たちが、体感し、発見し、メディアを使って、自分で考える、新しい！健康教育プログラム！

01

「Tobacco Free Kids Japan」プロジェクトの「がん予防」プログラムは、
子どもたち=<地域社会の重要な担い手>としてとらえ、
iPad や Skype、ZOOM、声シャッター、UD トークなどのデジタルデバイスや SNS、アプリなどを使って、
人々の「つながり」のなかで、どうしたら「がんを予防」できるのかを、
体感しながら自分自身で考えるまったく新しい健康教育プログラムです。
子どもたちはデジタルデバイスを駆使して街、地域社会、コミュニティの中で「情報採集」を行っていきます。
さらに、集めた情報をほかの参加者たちと共有し、自分たちや家族、地域のみんなが「健康に暮らすには」
どうすればよいのかを考え、学んだこと、思ったことを地域の人々の前でプレゼンテーションします。

02



ワークショップの流れ

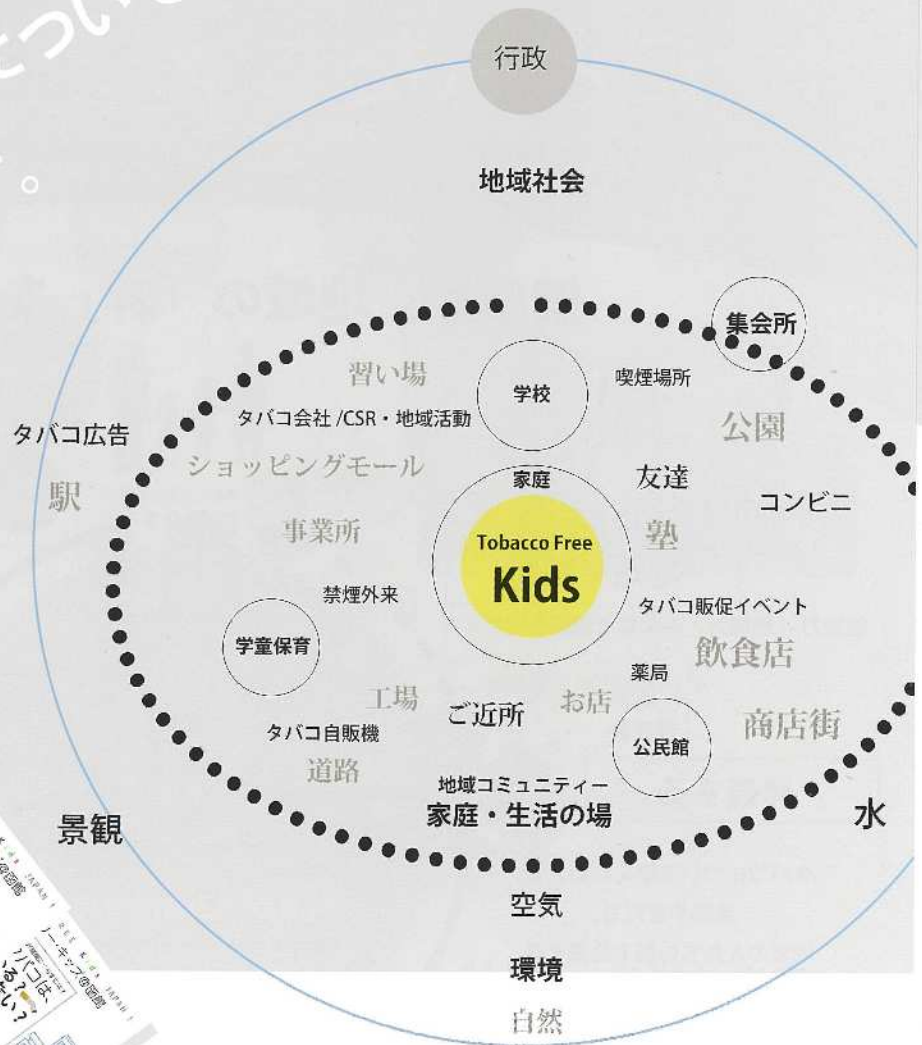
「飲食店でタバコは？」「吸い殻はどんな所に？」
 「禁煙外来ってどんな所？」など、参加者にはミッションが与えられます。
 チームはミッション別に編成され、
 チーム別の「情報採集帳」というノートが配布されます。
 参加者はタバコについて1日目に街に出て、
 iPadを使ってタバコについて集めた情報を、
 この「情報採集帳」に書き込んだり、写真を貼ったり、
 学んだこと、思ったことを書いて使っていきます。
 ワークショップの2日目には情報採集帳をもとに、
 チームごとに集めた情報をみんなの前で発表します。
 最後に個人の感想を書いて情報採集帳を完成させます。

家族や街の人みんなが、
健康にくらすには？

タバコ
いる？
いない



こどもたちが向かう情報採集の場



街の中には、タバコについての
情報が溢れています。

03



「情報採集帳」は、ミッション別に
チームごとに作られています。
参加者は、記載された内容をもとに、
様々なタバコについての情報を集めてきます。



公益財団法人
日本対がん協会
Japan Cancer Society

みなさんの地域でも、「タバコフリー・キッズ」をはじめませんか？



※岡山県では伊原木知事自らがタバコフリーキッズ岡山を呼びかけています。



プログラム協力：

 National Cancer Center
 国立がん研究センター



参加した子どもたちは「タバコフリー・メッセージCM」を残します。

※子どもたちの呼びかける禁煙メッセージは、地域の大人たちへの健康啓発の効果的な動画となります。



プログラム協力：国立がん研究センター

プロジェクトのお問い合わせは：公益財団法人日本対がん協会 / 担当：望月 (mochizuki@jcancer.jp)
 〒104-0061 東京都中央区銀座7-16-12 G-7 ビルディング9階 TEL:03-3541-4771 FAX:03-3541-4783